



# 平和資料館 草の家 だより

No.111

2011年6月25日発行



草と草の根の連帯をあらわす  
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586  
E-mail: GRH@ma1.seikyoin.ac.jp http://ha1.seikyoin.ac.jp/home/Shigeo.Nishimori

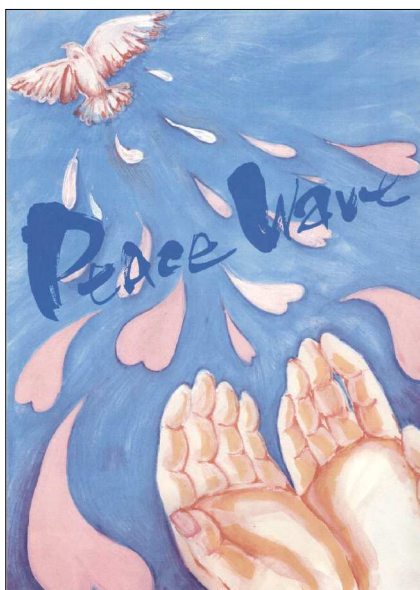
## 今、あなたに届けたい平和の想い

平和資料館・草の家 館長 岡村正弘

1979年7月4日に第1回高知空襲展を開催してから、今年は33回目の空襲展(戦争と平和を考える資料展)になります。

第1回の空襲展は、高知市役所西隣の「市民の図書館」で、県下全域から戦争の悲惨さを物語る資料や遺品などを展示し、初日に1500人、のべ8000人をこえる人々が入場しました。それ以来、1983年から「平和七夕まつり」、1984年から「平和美術展」「平和映画祭」「反核平和コンサート」がはじまり、1996年からは平和・文化活動を結集した「ピースウェイブ(平和の波)」として多彩な活動を繰り広げてきました。今年は、12余の事業が企画されています。

3月11日に起きた東京電力福島第一原発事故の被害は想像を絶するもので、現在も進行中であり、被害は時間的に数十年におよび、海洋汚染は地球規模になる恐れがあります。どうなるか世界が注目しています。ドイツはいち早く国策として脱原発を決めました。「日本の原発は安全です」という「安全神話」はもはや通用しません。核兵器である原爆と同じように原発も人類と共存できないという国民的運動を起こさなくてはなりません。被災者救援、被災地の復興と原発から自然エネルギーへの転換を訴えます。



第1回高知空襲展を企画・実行した草の家初代館長・西森茂夫さん、「高知・戦災と空襲を記録する会」会長・梅原憲作さんは共に平和の風となり、私たちを見守ってくれていることでしょう。

私たちは、教えを導きとし、国際的・世界史的視野に立つという観点と、地域・足もとから戦争と平和を語り継ぐという観点に立って活動を受け継ぎ発展させて行きます。草の家会員のみなさんの大きな支えと、県民・市民のご協力・ご支援を受けてピースウェイブをはじめ、戦争に反対し平和を守る活動をみなさんと共に育み、歩んで行きます。

今年は、地元岡豊高校の学生である sayaka さんが、手の平から鳩が飛び立つ姿が印象的なポスターを描いてくれました。